

騒音測定 FAQ（よくある質問）

建築設備竣工・改修、環境騒音対策他調査のための騒音測定

測定は建築設備竣工時や近隣への騒音の影響評価時に測定します。
隣地境界や静寂な環境が求められる場所、機械室回りや、放送室スタジオなどでは防音工事の検証として計測が必要です。

測定は目的により、測定方法が違います

使用目的は大きく2つにわかれます。

1. 環境調査としての騒音測定

交通量の激しい場所での測定 --- 瞬間値、等価騒音値（平均値のようなものです）
航空機や環境騒音の測定など --- 瞬間値、等価騒音値 ペンレコーダーによる記録

2. 竣工時の試運転調整後測定 --- 普通騒音計での測定と周波数分析測定があります
仕様書を確認してください。[NC 値、NC40] などあれば周波数分析が必要です。

- ・敷地隣地境界における測定
- ・機械室回りや、会議室、視聴覚室関連測定
- ・竣工前後環境測定

Q1 : 調査費用は？

測定費用は以下の点から算出されます。

- (1) 調査の目的 → 調査方法、測定機器の種類を決定
- (2) 調査の目的 → 調査時間、時刻、頻度を決定
- (3) 同様に、記録紙チャートを使うかどうか、周波数分析を行うかどうかを見ます
- (4) 調査場所（市町村）から交通費、出張宿泊費が算出されます
※ もっと端的に言えば、都内で測定し、〇〇dB です。と口頭で報告のみならば¥80,000～です。

でも報告書は？ 等価騒音レベルの測定は？ NC 曲線は？ ペンレコーダーによる記録は？
時間帯は？ 昼間、夕方、夜間、深夜？ 何時間測定？ さらに、雨が降っても測定しますか？
これら条件が重なると費用はだんだんふくらんでいきます。

相談・コンサルティング料金 ¥80,000 + 交通費 + 消費税
測定基本料金 ¥80,000
測定料金別途 (A-mode, C-mode, 周波数分析, 記録計応相談)
レベルレコーダ(記録計)使用の場合は ¥40,000となります。

Q2 : 測定は静かでないといけませんか？

竣工時の測定では重要です。測定環境は以下の点を押さえる必要があります。

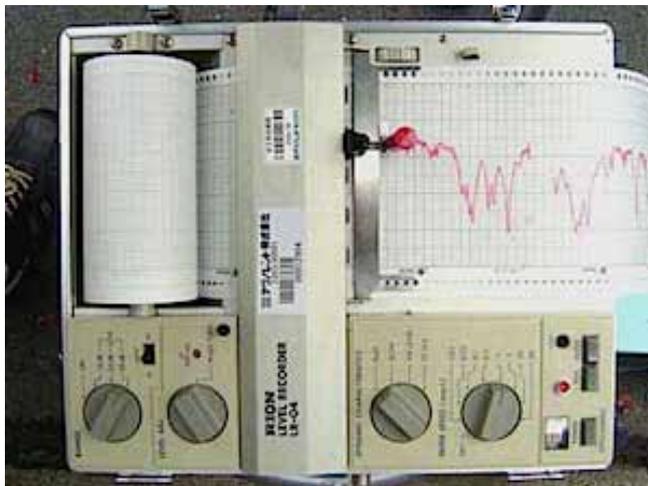
- 竣工時測定では、据え付けた機械の騒音値、建設した建物、室内の騒音環境測定です
- よって工事をやっている箇所での測定はできません
- 特にハツリ、躯体の手直し、外構工事をやっている場合は**全く測定できません**

測定はなるべく回りが静かな時を選んで測定します。

測定は空調機械など騒音を発生すると思われる機器を稼働して騒音値を測定します。また、それらの機器を停止させてバックグラウンドとしての騒音値（暗騒音値）の2つの条件で測定します。

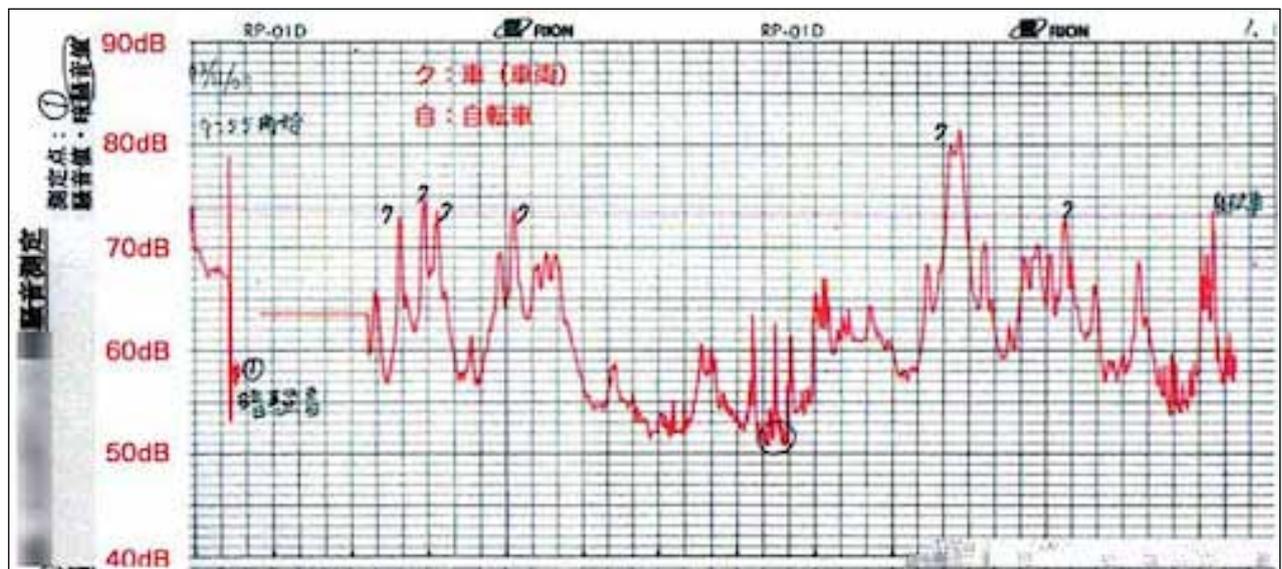
単に測定値をホンまたはデシベル（dB）で表示する場合と、周波数分析を行い、各周波数毎の騒音値を測定してNC曲線を作成する場合があります。

定点観測で1箇所または複数箇所継続して測定を行い、ペンレコーダーで記録する方法があります。調査箇所数、時間帯、測定時間により料金は変わります。



レベルレコーダーによる記録状況

記録例



Q3 : マンション上下階の騒音が気になるのだが？

このような疑問で騒音測定を依頼される方はよくお読みください。

測定条件としては難しいものがあります。

騒音測定をすることになると**騒音が発生しているとき**でなければ意味がありません。

ですから定常的、周期的、あるいは一定時刻になると発生する騒音には準備をして測定でいいのですが、数日に一度起こる騒音やたまに起きる騒音を捉えるとなると大変です。

単に記録計を置いて24時間の監視をしても、記録された騒音がこういった状況で発生したのか、隣人のものか、宅内の騒音かは判別できません。

- ・測定するより話し合いで解決できる場合が多々あります。
- ・測定しても環境基準以下の騒音や夜中に低く響く音などは環境規制値を下回る場合がよくあります。

しかし本人にとってみれば大事な睡眠が脅かされるのですから大問題です。

なるべく詳細なメモをとり、日時や時刻とともに、その音でどんな支障が起きるのか、睡眠が妨げられる等の具体的な状況を記述して、話し合いから始めるのが得策です。そうしたメモは訴訟などでも証拠として役に立ちます。

もしあなたが騒音を出す側であれば、事前に近隣に挨拶し、誠実な対応をするだけで精神的にも近隣の許容度が違ってきます。

しかし、長期にわたるようでしたら別な対策を考える方がいいでしょう。

■ 料金は測定条件・使用機器・頻度・継続時間・測定時刻・測定場所で異なります。

まずは測定の趣旨をご説明ください。

ユネットは、最良の方法、時間帯を検討し、効果的で費用のかからない方法を提案します。

どう頼めばよいか分からない方にも、目的に合った測定方法を具体的に提案します。

係争中あるいは訴訟がらみの場合は、担当弁護士と打合せ・検討をしてから測定するのが最良です。

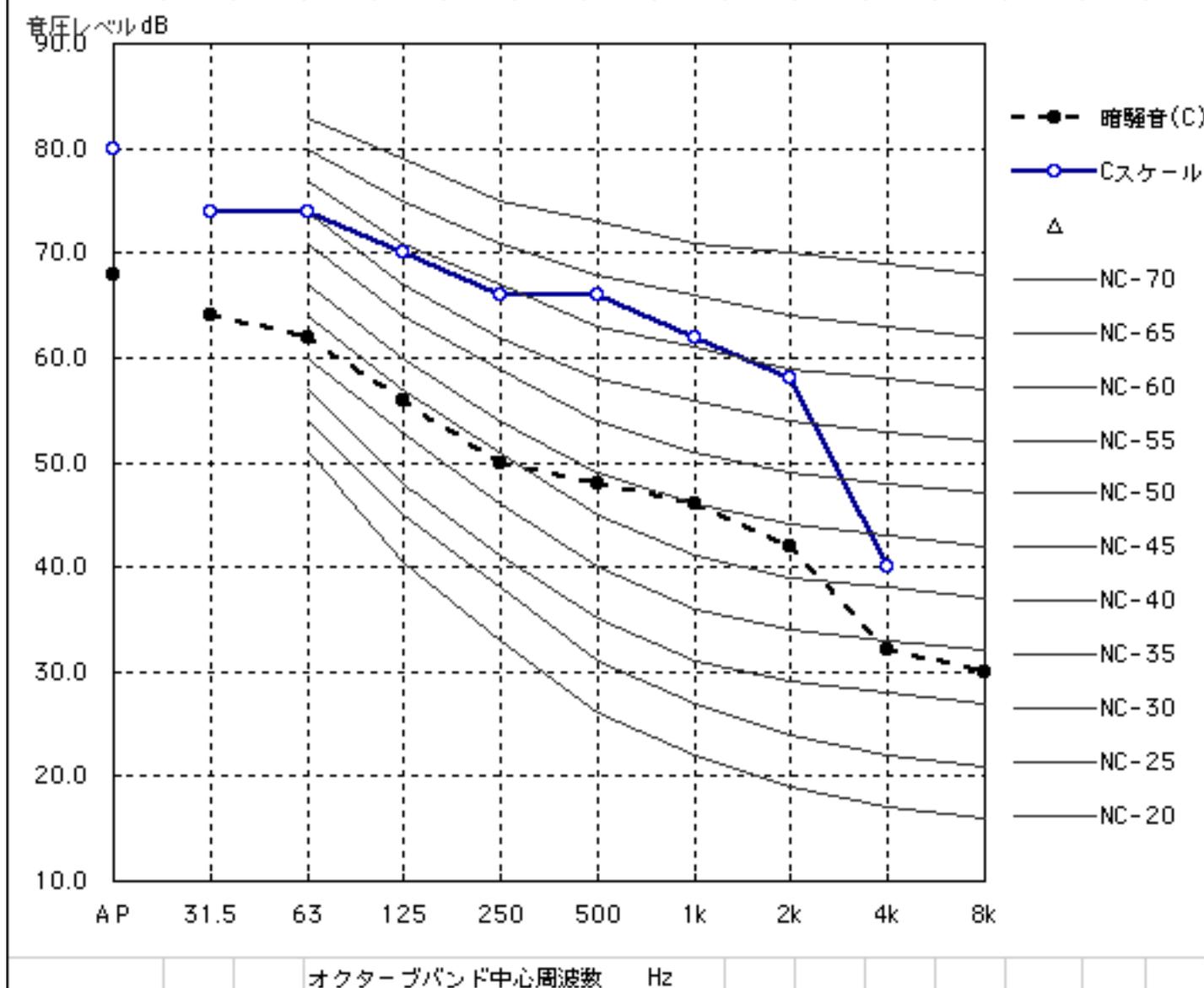
当社では依頼主の目的にあった測定を依頼主と弁護士の納得いくかたちで行います。

参考資料 1 : NC 曲線例

騒音測定分析		〇〇病院新築工事									測定者： 	
測定場所：	RF①	測定日時：（騒音）			200x.xx.xx			（暗騒音）		200x.xx.xx		
測定者：	 	測定時刻：（騒音）			20：42～			（暗騒音）		19：20～		
中心周波数Hz	AP	31.5	63	125	250	500	1k	2k	4k	8k	備考	
周波数特性	A	31.5	63	125	250	500	1k	2k	4k	8k		
Cスケール	80	74	74	70	66	66	62	58	40	<30		
暗騒音(C)	68	64	62	56	50	48	46	42	32	30		

記事： NC曲線はCスケールの値のみプロットしてグラフ化します。

NC曲線



※ 空調機械室での騒音値、暗騒音値をNC曲線に表したものです。

参考資料 2：室内騒音に関する基準・許容値（日本建築学会編資料集成より）

(1) 各種室に対する NC 推奨値

室の種類	NC 数
放送スタジオ	NC15 ~ 20
音楽堂	NC15 ~ 20
劇場（500 席、拡声装置なし）	NC20 ~ 25
音楽室	NC20 ~ 25
教室（拡声装置なし）	NC25
テレビスタジオ	NC25
アパート、ホテル	NC25 ~ 30
会議場（拡声装置付）	NC25 ~ 30
家庭（寝室）	NC25 ~ 30
映画館	NC30
病院	NC30
教会	NC30
裁判所	NC30
図書館	NC30
料理店	NC45
運動競技場（拡声装置付）	NC50

(2) NC 数による室内騒音の評価基準

NC 数	騒音の状態	適用例
NC20 ~ 30	<ul style="list-style-type: none"> 非常に静か 電話に支障なし 大会議可能 	重役室 大会議室
NC30 ~ 35	<ul style="list-style-type: none"> 静か 15ft のテーブルで会議可能 10 ~ 30ft 離れて普通の声で会話可能 	専用室、応接室 小会議室
NC35 ~ 40	<ul style="list-style-type: none"> 6 ~ 8ft のテーブルで会話可能 電話支障なし 10 ~ 30ft 離れて普通の声で会話可能 	中事務室 工事事務室
NC40 ~ 50	<ul style="list-style-type: none"> 4 ~ 5ft のテーブルで会議可能 電話やや困難 普通の声で 3 ~ 6ft、やや大声で 6 ~ 12ft 離れて会話可能 	大きな技師室 製図室
NC50 ~ 55	<ul style="list-style-type: none"> 2 ~ 3 人以下の会議は可能 電話やや困難 普通の声で 1 ~ 2ft、やや大声で 3 ~ 6ft 離れて会話可能 	タイプ室 計算機室
NC55 以上	<ul style="list-style-type: none"> 非常にうるさい 事務室に不適 電話使用困難 	適用なし

参考資料 3：騒音規制法施行状況調査について

環境省は、全国の都道府県等の報告に基づき、騒音規制法施行状況調査として騒音苦情の状況及び騒音規制法の施行状況を取りまとめました。(http://www.env.go.jp/air/noise/index.html)

評 価 方 法

騒音規制法における夜間の規制基準値以下（基準値は都道府県知事により下記の範囲で設定される）

第 1 種区域 40dB(A) 以上、45dB(A) 以下

第 2 種区域 40dB(A) 以上、50dB(A) 以下

第 3 種区域 50dB(A) 以上、55dB(A) 以下

第 4 種区域 55dB(A) 以上、65dB(A) 以下

< 区域 >

第 1 種区域 良好な住居の環境を保全する為、特に静穏の保持を必要とする区域

第 2 種区域 住居の用に供されている為、静穏の保持を必要とする区域

第 3 種区域 住居の用に併せて商業、工業の用に供されている区域であって、

その地域内の住民の生活環境を保全する為、騒音の発生を防止する必要がある区域

第 4 種区域 主として工業等の用に供されている区域であって、その地域内の住民の生活環境を

悪化させない為、著しく騒音の発生を防止する必要がある区域



有限会社ユネット

〒195-0071 東京都町田市金井町 1886-13

電話：042-737-7242

F A X：042-633-0407

w e b：http://www.yoonnet.com



[建築、設備の調査・診断・測定] ユネットは問題の解決を提供します

騒音調査 FAQ : 建築設備竣工・改修、環境騒音対策他調査のための騒音測定